

巻頭言

コロナ・科学・専門家 01
小林傳司 (大阪大学名誉教授)

特集

コロナ禍とサイエンスコミュニケーション 04

— 不確実性とリスクのあるなかで —

COVID-19の薬事開発と社会との関係について 06
八代嘉美 (神奈川県立保健福祉大学イノベーション政策研究センター)

COVID-19 情報汚染と社会の不安 10
 — 事実と報道の誤差は狭められるか? —
小出重幸 (科学ジャーナリスト, 日本科学技術ジャーナリスト会議 (JASTJ) 理事・前会長, 元読売新聞編集委員)

臨時休館中でも楽しめるコンテンツの提供 12
田中庸照 (国立科学博物館 事業推進部 広報・運営戦略課 広報戦略担当)

コロナ禍とサイエンスコミュニケーション 14
 — JASC会員向け実態調査アンケート結果から —
浦山 毅 (「モハ工房」代表, 理系編集者, JASC編集委員 (副編集長))

コロナ禍が問うサイエンスコミュニケーション 24
渡辺政隆 (日本サイエンスコミュニケーション協会会長)

小特集

JASC 認定サイエンスコミュニケーター 26

サイエンスコミュニケーター資格認定について 26
高安礼士 (JASC副会長)

2019年度 JASC 認定サイエンスコミュニケーター 27

特別寄稿

理系編集者として生きる 34
 — 良質な自然科学書をつくるために —
平 祐幸 (元(株)化学同人取締役編集部長)

連載企画

つながる 38
特定家畜伝染病発生時における静岡県 GIS を活用した情報共有
二階堂紗恵 (静岡県東部家畜保健衛生所)

知りたい! 42
身近なペットと新型コロナウイルス感染症
西岡真由美 (ノンフィクションライター/獣医師)

活動紹介

こんにちは! JASC 44

2020年4~9月の定期的活動の報告

記事・実践報告・総説・論文 45

記事

一人ひとりの障害特性に応じた学習支援 46
 — 特別支援学校における理科実験の実践報告 —
河合信之 (神戸市立塩屋中学校教諭)

海外における在外邦人を対象とした科学コミュニケーション実践について 48
福成海央 (SciNeth (サイネス) 科学コミュニケーター/ワークショッププランナー)

科学館における企業と連携したプログラム開発 50
 — 製品ライフサイクルをテーマとした事例 —
新井真由美 (日本科学未来館)
 谷村優太 (日本科学未来館)
 池辺 晴 (日本科学未来館)

パーム油を通して世界とのつながりを探る学校向けプログラムの開発と実践 52
中島 朋 (日本科学未来館)
 新井真由美 (日本科学未来館)
 谷村優太 (日本科学未来館)
 池辺 晴 (日本科学未来館)

実践報告

先端科学技術の社会実装をテーマにした参加型演劇の試み 54
 — コラボレーション企画弦巻楽団×北海道大学CoSTEP「私たちが機械だった頃」を事例として —
種村 剛 (北海道大学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP) 特任講師)

「サイエンスカフェ@ふくおか」の実践と分析 62
吉岡瑞樹 (九州大学先端素粒子物理研究センター准教授)
 三島美佐子 (九州大学総合研究博物館准教授)
 小林良彦 (九州大学基幹教育院次世代型大学教育開発センター特任助教)

高等学校における小・中学生対象の科学教室の実践報告 68
石田光宏 (横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校教諭 (理科))

論文

九州北部地域における草の根サイエンスカフェの広がり 74
 — 「サイエンスカフェ@ふくおか」から生まれた二つのサイエンスカフェの開設動機と準備過程 —
小林良彦 (九州大学基幹教育院次世代型大学教育開発センター特任助教)
 吉岡瑞樹 (九州大学先端素粒子物理研究センター准教授)
 三島美佐子 (九州大学総合研究博物館准教授)

地方都市で開催する科学祭の潜在力 80
 — はこだて国際科学祭を事例として —
美馬のゆり (公立はこだて未来大学教授)
 渡辺政隆 (東北大学特任教授)

Abstract 90

総目次 89

編集後記 92

(名前の英字表記:本誌では名字を大文字で表記し「名,姓」の順で表記していますが,執筆者の希望を優先しています)